

つまようじタワー 倒れるな!!

県内の高校生チームがつまようじで作ったタワーの耐震性を競うコンテストが10月30、31の両日、熊本市西区の崇城大であり、工夫を凝らした作品で熱戦を繰り広げた。



つまようじタワーの耐震性を競うコンテストに臨む高校生たち。熊本市西区

県内の高校生コンテスト

2部門で耐震性競う

崇城大

ものづくりと建物の耐震性への関心を高めてもらおうと、同大が2011年から開催。昨年は新型コロナウイルスの影響で中止したため2年ぶりで、普通学科と建築系学科の2部門で競った。

普通学科部門のタワーは、高さ50センチ以上で重さ60g以下とし、接着剤だけで組み立てることなどが条件。振動を発生させる装置に固定したタワーの頂上部分に重りを載せ、1キログラムずつ増やしてどこまで耐えられるかを競った。出場チームは事前に製作して臨んだ。

30日は普通学科部門があり、14校の47チームが出場。優勝した大津高1年の藤原深愛さんは「製作に1カ月以上かかったが、優勝できてうれしい。土台とタワーの接着に接着剤を多めに使い、しっかり固定させたのが良かったと思う」と話した。

31日あった建築系学科部門は10校35チームが出場し、八代工高が頂点に立った。(上野史央里)